

上北沢桜並木通信 第4号

「上北沢桜並木会議」は7月25日の立ち上げの会から、本格的に始動しました。通信第4号では、9月4日に行われた「桜並木セミナー（実態調査）」を中心に、前号（8月10日発行）以降の活動について、ご報告します。

1. 9月4日（土）桜並木セミナー
 - ・ 現場の調査と意見交換（写真右）
2. 9月14日（火）定例会議
 - ・ 桜の診断報告
 - ・ 清掃活動の提案 ほか
3. 9月26日（日）青空教室の実施（上北沢公園→桜並木）
 - ・ 読書会と桜の測定
4. 清掃活動の実施
5. その他
 - ・ 9月16日（木）世田谷区風景づくりフォーラムに参加（桜並木会議の紹介、区内「地域風景資産」の保全活動についての情報交換等を行いました）



上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。

しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。

上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていきこうという取り組みです。そのため次の活動をしていきます。

- ◆ 桜並木の保全・育成のため、地域にお住まいの方の声を聞き、意見交換を行うための場（定例会議）を設けます。
- ◆ 桜の生態を学ぶ活動（専門家を招いた勉強会など）や、地域をより深く知るために並木の成り立ちや歴史を調べる活動を行います。
- ◆ 桜並木の清掃活動をしたり、桜まつりなど地域の活動と連携します。
- ◆ この活動を多くの方々に広く知ってもらうため、通信を発行します。

※この取り組みは「公益信託世田谷まちづくりファンド」の助成を受けています

※この取り組みは、地元有志によって始められました。特定の営利活動、思想・政治的活動などとは一切関係がありません

連絡先：和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660

上北沢桜セミナー (実態調査)の報告

日時：平成16年9月4日 10:00～17:00

場所：実態調査→上北沢区民センター

参加者：区民 29名

行政関係 3名 計 32名

<実態調査>

- ・上北沢在住の樹木医、石井先生をお招きして、桜並木の一本一本を確認し、以下の基準で判定しました。

- ・環境、人為的な傷、菌類などの状況、生育状態などをみながら総合的に判断するそうです。
- ・詳細をご覧になりたい方は、桜並木会議までお問い合わせください。

○総合判定

- 1 (図中○) 桜の生育にとり優良
- 2 (図中□) ほぼ正常に発育
- 3 (図中△) 生育は不良、しかし若干の改良により正常な生育可能
- 4 (図中☆) 生育不良で、正常な生育に回復するには強度の改良が必要



午前と午後に分かれて実態調査



講師の石井先生



幹の傷なども丹念に調べます



このような菌類(キノコ)が根の部分に生えている木もありました



葉の様子からも樹木の状態がわかります



調査終了後、上北沢区民センターで意見交換

<調査後の意見交換>

(1) 実態調査後の総括（石井誠治先生）

- ・こういう形で桜の知識を共通なものにすることは重要である。
- ・公園などの例はあるが、街路樹でこのような活動に住民が取り組むのはあまり例がないのではないか。
- ・今後の進め方として、維持・管理が重要なことになる。そのためには、この桜に関する情報を皆で共有することが大切で、管理マニュアル等を作成し、経過を記録すべきであろう。
- ・目標を高いところにおき、進めて欲しい。

(2) 質疑応答

Q: 何年ぐらい先をイメージして考えているのか

A: 維持・保全の方法もいろいろあるので、今後、それらを含めて検討していくことが会議の主旨であると考えている

Q: 維持・管理は区の役割ではないのか。

A: 住民・行政、いろいろと協力しあって進めていく方針である。

Q: ランク別にみた場合、維持・管理の方向はどうあるべきか。

A: ランク4になってしまっては厳しい。ランク2・3をランク1にあげる方向で進めたい。



その他の活動報告

<定例会議>

日時：平成16年9月14日 18:30～20:30

場所：上北沢区民センター 第1会議室

出席者：区民等 17名 区関係 6名

(1) 桜診断セミナーについて

- ・今回配布した資料では総合評価だけであるが、実際には一本一本について細かいところをカルテ形式にまとめている。
- ・今後は、樹木医のご意見もお聞きして、充実していく。それを継続することで、データが蓄積され、全体の状況が見えてくる。

(2) 清掃活動について

- ・清掃は一時的なものではなく、恒常的に進めていきたい。
- ・落ち葉は10月下旬から11月上旬。その他は落花時期。清掃をしてきれいにしていないと、ペットボトルやたばこの吸い殻を投げすてる人が多い。
- ・イベント的な活動も必要だが、日常的なもの

のは我々が率先してやり、自然発生的に行われるようにすることを考えている。

- ・この前のセミナーでものぼりを立てて大々的にやっていたので、歩行者や車での通行者にアピールできたと思う。

(3) インターネットのホームページについて

- ・活動内容の提示、活動協力者の増員等のためにホームページを立ちあげたい。
- ・維持管理する人が必要である。できるだけ若い人に協力していただけないだろうか。

(4) 会費、ファンド資金の利用について(報告)

- ・当初の資金の利用計画では通信費やホームページ立ち上げ、会議資料作成等を考えていた。
- ・現在、通信費を少なくするため、通知はメンバーが個別にポストに入れている。

(5) その他の意見

- ・並木全体のグランドデザインを作り、木の種類、植栽場所等の選定をし、コミュニティ道路なども考えていければ良い。
- ・もっと多くの人にアピールできれば、桜の木のファンドも作れるのでは・・・。

<青空教室>

日時：9月26日(日)

13:30～14:30(読書会)ソメイヨシノとは？

14:30～15:30 桜並木にて桜の木実測

参加者：19名

- ・「桜を救え」平塚晶人、文藝春秋社、2001、第三章 p84-115を読みました。

- ・途中、石井先生の解説が多々あり、ソメイヨシノとは？何かと言うことが語られ、また、多くの質問も出されました。

<桜並木での実測>

- ・石井先生から胸高周囲の測定方法を学び、総数47本の胸高周囲(地上から1.3mの高さの幹周囲)実測調査を行った。

<清掃活動の実施>

- ・10月に入ってから、3回の清掃活動を行いました。
- 10月7日(木)：参加者10人
- 10月10日(日)：参加者12人ほか、ご近所の方4人
- 10月14日(木)：参加者9人ほか、町会の方数名
- ・今後も、原則として下記のとおり清掃を行います。ふるってご参加ください。

◆木曜日 午前8時から

◆日曜日 午前10時から



今後の活動予定

- 10月19日(火)18時30分～：定例会(上北沢区民センター)
- 10月23日(土)13時30分～：ファンドの中間報告(三茶しゃれなあど)
- 11月6日(土)～7日(日)10時～：上北沢文化祭参加(上北沢区民センター)
- 11月9日(火)18時30分～：定例会(上北沢区民センター)
- 12月7日(火)18時30分～：定例会(上北沢区民センター)